

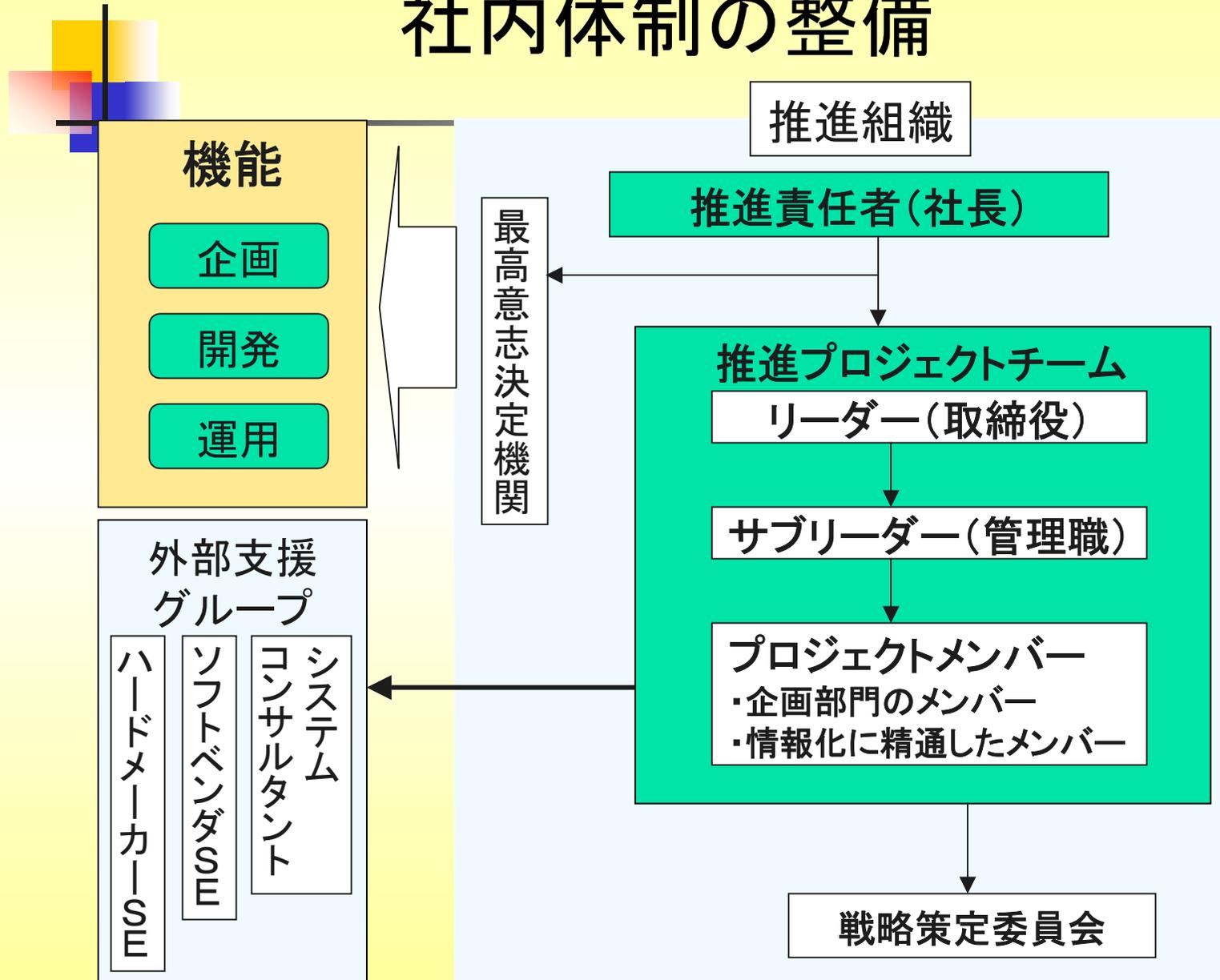
# 中小企業のIT活用診断

---

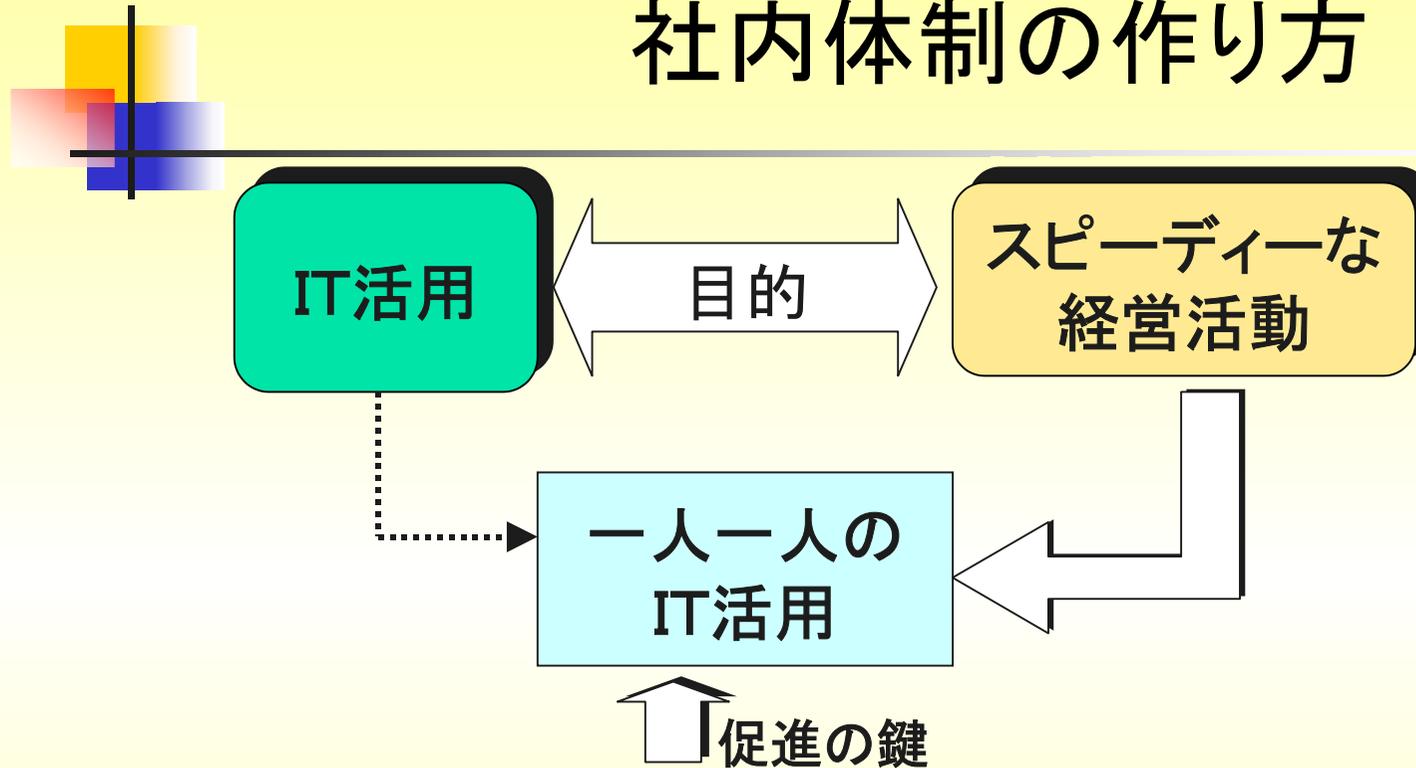
## IT活用の社内体制づくり診断

**Office Dora** 水谷 誠

# IT活用を推進する組織・社内体制の整備



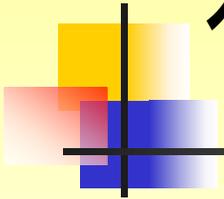
# IT活用を推進する 社内体制の作り方



## 利用者(部門)支援

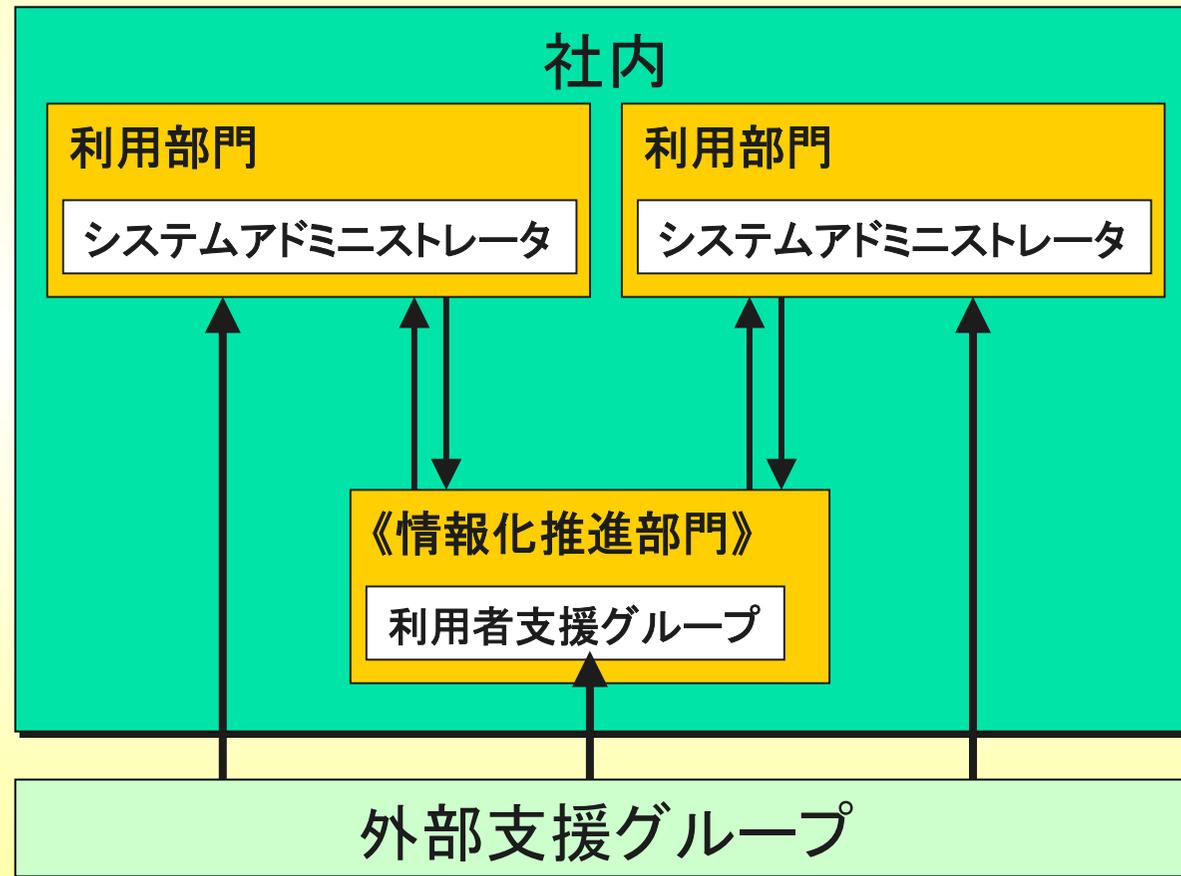
- 運用支援
- 情報リテラシー向上支援
- 情報活用の促進
- 部門情報システムの構築
- その他

# 利用者(部門)の支援体制



- システムアドミニストレータ
  - 利用者サイドの立場
  - 部門(グループ)の情報化を推進し実施する人材
- 上級シスアド → 部門の情報化推進
- 初級シスアド → 直接利用者を支援
- システムアドミニストレータの役割
  - 現行業務の問題点とその改善策の提案
  - 情報システム部門と利用者とのパイプ役
  - エンドユーザコンピューティングの推進
  - システム利用環境の整備
  - システム運用管理作業の支援 等

# 利用部門への支援体制のイメージ



# 情報化を推進するアウトソーシング

## ■ アウトソーシングのねらいとデメリット

### ◆ 専門家集団のもつノウハウの活用

- ◆ 類似システムの開発経験
- ◆ 新しい情報化技術
- ◆ プロジェクト管理能力

### ◆ 自社の要員不足の補完

- ◆ 人員の常時確保、短期育成、採用は困難

### ◆ 短期間でのシステム開発

- ◆ システム化のノウハウ
- ◆ 優秀な技術者の提供

### ◆ 意図、ねらいが十分に伝わらない場合がある

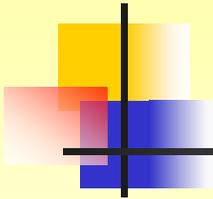
- ◆ コミュニケーション不足
- ◆ 自社担当者の説明不足
- ◆ 相手担当者の知識不足

### ◆ 機密情報漏洩の可能性

### ◆ 完成後の追加、変更が困難な場合がある

### ◆ 納期が遅れる可能性

### ◆ 社内の要員育成がおろそかになったり、システム化のノウハウが残らない可能性



# アウトソーシングの留意点

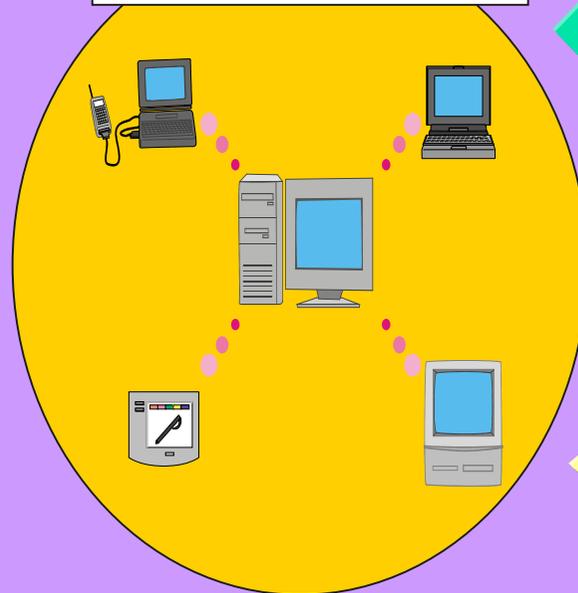
---

- デメリットをきちんと認識しておく
- アウトソーシング先の選択はきちんと
- 選定業者を信頼し、十分な打ち合わせを
- 無理な発注をしない
- 発注すべき部分をきちんと把握する
- 双方納得の上で明確な契約をする
- まかせっきりにせず、きちんとチェック
- 受け入れ検査はしっかりと
- アフターサービス体制も契約しておく
- 担当SEとのコミュニケーションをきちんとしておく

# 情報活用に必要な 情報共有化の推進

## そのポイント

情報共有システム



共有すべき情報の明確化

情報の確実な登録

活用に値する情報の維持管理

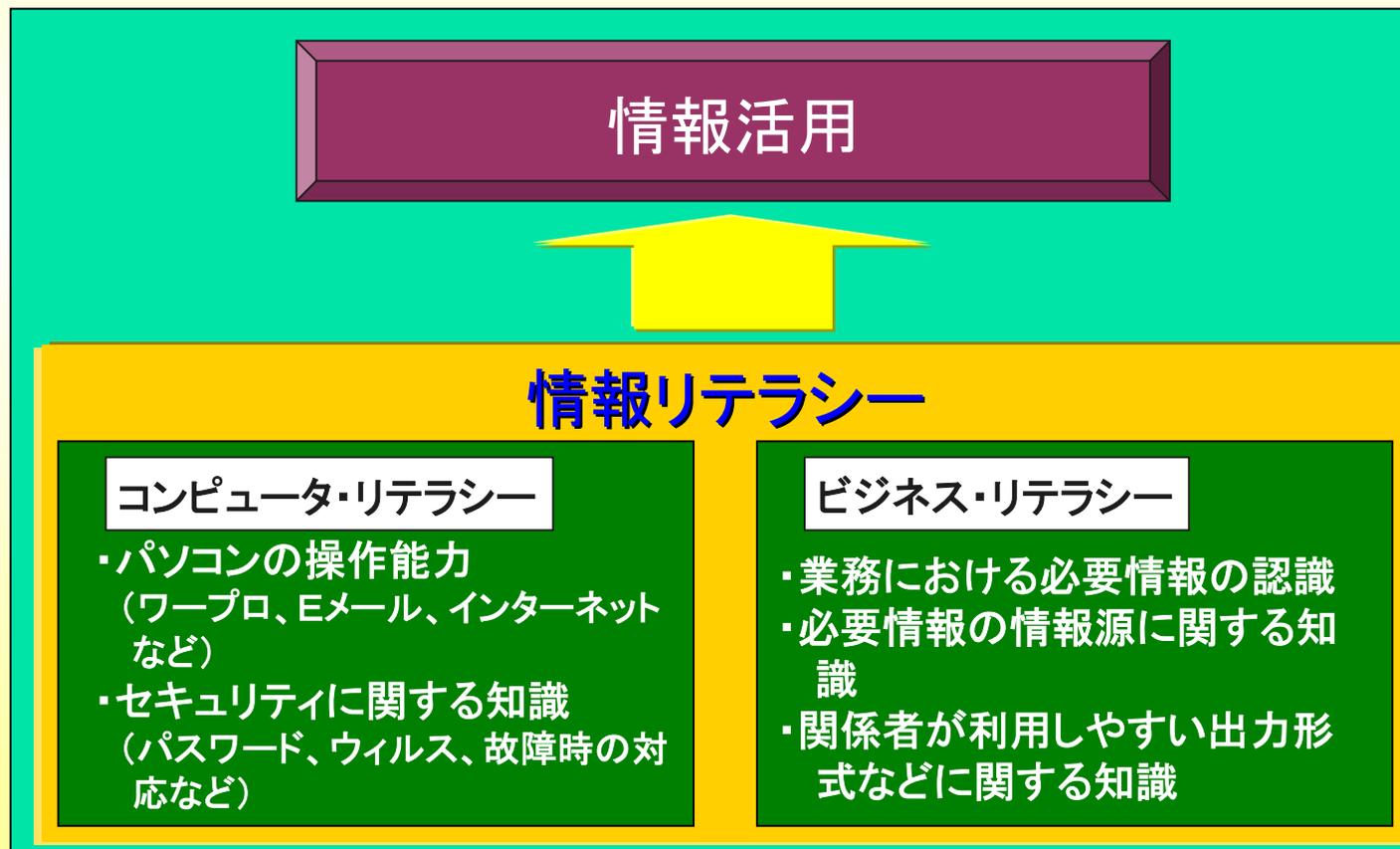
利用者の情報リテラシーの向上

利用しやすいシステムの構築  
セキュリティの確保  
支援体制の整備  
情報インフラの整備

「情報公開」の  
組織文化への変革

# 情報リテラシーの向上

- 情報システムを利用しての情報活用能力



# 情報リテラシー向上策と留意点

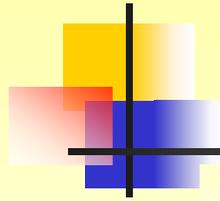
## ■ 向上策

- 該当者の経歴・能力、職務、業務内容を考慮した内容にする
- 業務処理効率向上を認識させること
- 相談者、支援体制の整備
- 受けやすいカリキュラムを用意する

## ■ 留意点

- ◆ コンピュータに対する恐怖心、不安を取り除くように
- ◆ トラブル発生時のサポート体制を整備すること
- ◆ 日々の業務で情報システムを利用しなければならない環境にする

とにかく、触ってその利便性を体感させること



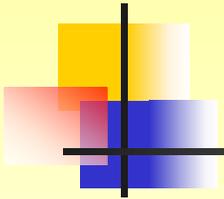
# 組織文化の変革

- 激変する経営環境に適応できる組織にするためには

情報機器を活用した 迅速なコミュニケーション	情報のオープン化 データベース化
大幅な権限委譲による 主体的な行動の支援	情報機器を活用した 会議・ミーティング



変化を当たり前と受け止める

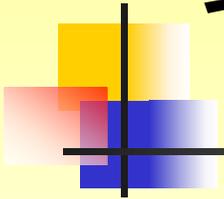


# 情報システムの維持・管理

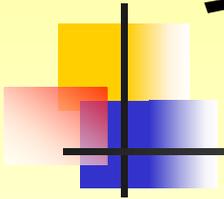
---

- 情報システムの運用管理項目
  - 構成管理
  - ファイル管理
  - 性能・障害管理
  - セキュリティ管理
  - 権利の保護と管理

# セキュリティ管理(1)



- 不正アクセスの防止
  - ユーザIDとパスワード管理
    - 必ずユーザID,パスワードを設定する
    - パスワード管理をきちんと
  - 利用しなくなったユーザIDの速やかな抹消
    - 長期間使用されないIDは確認の上停止処分とする
    - 利用しなくなった時点で必ず管理者へ届け出る
  - ユーザの権限は必要最小限に



# セキュリティ管理(2)

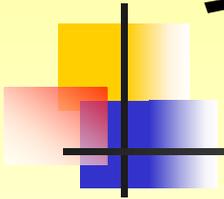
---

## ■ 情報管理

- 通信経路上での漏洩のチェック
- 機密保持機能の利用
- 改ざん検知機能の利用
- ファイルアクセス権限の設定
- 送信相手先の限定

## ■ ネットワーク管理

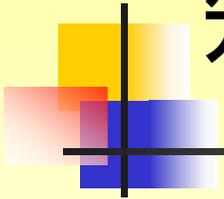
- 外部アクセスの経路は最小限に
- 外部接続機器には十分なアクセス制御機能を持たせる
- リモートアクセスは認証・暗号・アクセス機能を設定する



# セキュリティ管理(3)

---

- その他
  - ウィルスには十分注意する
    - ウィルスチェックソフトの導入
    - 出所不明のソフト・データは使用しない
  - 障害管理
    - 障害状況の速やかな原因究明
    - 速やかな回復作業を行える体制整備
  - その他
    - 情報保管場所への立ち入りの制限
    - 不正コピーの防止



# 知的財産権等の保護と管理

---

- ソフトの違法コピー防止
  - 東京リーガルマインド事件：8,400万円の損害賠償支払命令(2001/5/16)
- 音楽データのネット配信
  - Napsterの運営停止命令。著作権付き楽曲の掲載は一切不可(但し、発効延期措置とられる)
- ホームページや掲示板に無断で歌詞の一部でも掲載すると違反